



パレスチナのシンボル、
生い茂るオリーブの木



オリーブの街路樹と



オリーブの木で作った箸①とボールペン②

今日は、ベジ気分！

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。
少し、ベジで楽しい生活をのぞいてみませんか？

第8回日本ベジタリアンアワードにノミネートされた「架け箸」
代表・高橋智恵さんを、加藤裕子をご紹介します。



精緻な刺繍や織りを
使った布商品



今月のベジーさん
高橋 智恵さん
～「架け箸」代表～

●ブルガリア留学でビーガンと出会う●

子どものときから英語が好きで、大学に入ってから「異文化環境に身を置きたい」と、2017年から1年間、ブルガリアのソフィア大学で交換留学生として学びました。私は西欧よりもスラブ語圏に興味があったので、第二外国語で取っていたロシア語と同じキリル文字を使うブルガリアは、条件にぴったりでした。

社会主義の時代が長かったせいか、ブルガリアは時間の流れがのんびりしていて、それぞれが自由に好きなことをしている、私にとっては居心地がよいところでした。周囲に日本人が少なく、仲良くなった留学生の友達がビーガン、ベジタリアンだったので、私も自然とビーガンやベジタリアン食を食べるようになりました。単に動物性のものを食べないというだけではなく、地産地消を意識して個人店で買い物をする彼女たちの行動に、日本にいたとき、使い捨ての消費文化にもややしていた私はとても共感しました。このときの経験は、現在の仕事でエシカルを大切にしていることにもつながっています。

帰国後は100%ビーガンというわけではありませんが、基本的にはビーガンであるように心がけています。衣服も動物性の素材が使われていないものを選び、シャンプーなどは動物性の材料が使用されておらず、動物実験をしていない商品を使っています。

●パレスチナと日本をつなぐ活動●

中東パレスチナ×日本のかわいいを届けるブランド「架け箸」代表の高橋智恵さんが初めてパレスチナを訪れたのは2018年、ブルガリアに交換留学していたときでした。

「高校の世界史の授業でパレスチナ問題を知り、パレスチナが60年以上、戦後処理がされないまま放置されてきたということに驚きました。いつか行ってみたいと思いました。日本にいたとパレスチナは遠く、なかなか実行できません

でした。ブルガリア留学から帰国するタイミングで『今なら行けるかも』とネットで調べ、1カ月間のインターンシップに申し込み、パレスチナのヘブロンという街で過ごすことになりました。現地のサマースクールでパレスチナの子どもの手伝いをしながら、アラビア語の初歩を学ぶ中、上級下の厳しい現実がありつつも、その苦悩を内に秘めてたくましく日常を送る人々の姿に接し、すっかり惹き込まれました。活気あふれる市場に漂うスパイスやコーヒーの香り、大家族で集まって出かけるピクニック、

ファラフェルやフムスなどのパレスチナの伝統的料理、大地に根を張って生い茂るオリーブの木々……それまで色々調べて頭の中で描いていたモノクロの風景が鮮やかなカラーに変わるようでした」

そんな経験をする中で、高橋さんはパレスチナで起こっていることを「他人事」として線を引けなくなつたと言います。パレスチナと繋がりが続けられる事業に関わりたいという想いを胸に帰国し、就職活動を始めた高橋さんでしたが、希望に合う仕事をみつけることができず、自ら起業することに。「あるとき、ふと『お箸はどう



イベントで出店する
高橋さん



現地のブランドの創業者と布の買い付けに



ホストファミリーの
女性陣と



街並み (西岸・
ナブルス)

パレスチナの朝食



人権も環境もすべてつながっているという考えから、「架け箸」では「伝統産業を守る」「リサイクル・アップサイクルを心がける」などの「エシカル5カ条」を掲げています。現在は看板商品の、お箸の他、オリーブのお皿や雑貨、

●人権と環境は つながっている●

お箸の材料はパレスチナのシンボル、**オリーブの木**です。高橋さんが『架け箸』を立ち上げたのは2020年、初めてパレスチナを訪れてからわずか2年後のことです。資金は翌年2〜3月にクラウドファンディングで集めました。

「ブリッジングすることが大切だ」というメッセージをお箸で表すことができるのではないかと考えたのです」

「だるう」とひらめきました。パレスチナはイスラエルが張り巡らせた分離壁で分断され、人々は自由に行き来することができません。でも、人間がそうやって線を引くことは物理的にも概念的にも無意味だと私は思います。そうではなく、互いを



<https://kakehashi-palestine.com>

Instagram:
@kakehashi0212

Facebook
<https://www.facebook.com/kakehashi.notwall>

note
https://note.com/kakehashi_pale/

オンラインストア
<https://kakehashi.thebase.in>

高橋さんのパレスチナへの想いや現地の生産者のストーリー、購入可能な全国の店舗、イベントスケジュール (随時更新) などが掲載されています。

【12月の出店予定】muku マルシェ
(cafe muku/ 兵庫県川西市、12月20日 10:00~15:00)



美しいクロスステッチのパレスチナ刺繍を施した布製品なども取り扱い、**現地のフェアトレード団体と提携し**、適正な値段での取引を行っています。

「当初は元々パレスチナに関心のある方が購入してくださることが多かったのですが、イベントやマルシェなどで、直接 お客様とやり取りしているうちに、商売自体を気に入って買ってくださいることが増えてきました。環境問題を意識している方からは、無塗装でプラスチックフリーの木工品という点も評価していたんでいます」と高橋さん。

2023年10月7日以降、パレ

スチナ・ガザ地区に世界の注目が集まり、『架け箸』にも問い合わせが相次いでいるそうです。

「今私たちが目にしているパレスチナの悲劇は急に始まったことではありません。『架け箸』の生産者の無事は確認できていますが、ヨルダン川西岸地区でも状況は悪化しています。なかなか先は見通せませんが、どのようなときも『架け箸』は通常営業を続け、パレスチナの姿や人々の尊厳を伝えていきたいと思っています。皆様もどうかパレスチナへの関心をこれからも持ち続けていただければ幸いです」



なめらか食感 豆腐バー

- ✓ 賞味期間61日で買い置きに便利
- ✓ なめらかでしっとり食感
- ✓ 持ち運びやすく食べやすいタイプ



かつおだし味 麻婆豆腐味 ブラックペッパー味



<協会事務局>
〒532-0011
大阪市淀川区西中島
5-7-25 チサンマンション
新大阪十番館505号室
☎ 06-6868-9860
<http://www.jpvs.org>

認定NPO法人日本ベジタリアン協会
加藤 裕子 (顧問)
著書に『食べるアメリカ人』など。